

岩手県葛巻町情報通信基盤整備実施計画

岩手県葛巻町における ブロードバンド化促進のための調査研究報告書

～ブロードバンドが支える安心・安全な災害に強いまちづくり～

平成19年12月

岩手県葛巻町におけるブロードバンド化促進のための調査研究会

はじめに

近年の我が国の景気動向は改善方向にあると言われているが、その恩恵に浴することができる階層の差異による、いわゆる「格差の拡大」が今後の大きな社会的課題とされている。このことは都市部／地方間の経済状況格差においても同様であり、政府は地方経済に対するテコ入れ策としての「地方再生」を重要政策と位置付けている。

このような観点からも、情報通信における格差、即ちデジタル・ディバイドは地方においてこそ解消することが重要となり、総務省では、ブロードバンド・ゼロ地域／携帯電話不感地帯の解消を図るための「デジタル・ディバイド解消戦略会議」を本年10月に設置し、本年度末までにその実現に向けた政策提言を行うこととしている。

特に、ブロードバンド整備については、「IT新改革戦略」(政府IT戦略本部 平成18年1月)及び「次世代ブロードバンド戦略2010」(総務省 平成18年8月)において、2010年度までの「ブロードバンド・ゼロ地域の解消／超高速ブロードバンドの世帯カバー率90%以上」と明確な目標設定がなされている。

そして、総務省では、地形や過疎進行などの厳しい条件にある地域のブロードバンド環境の実現を図るため、平成18年度から「条件不利地域におけるブロードバンド化促進のための調査研究」を実施しており、平成19年度の東北地域におけるモデル地域として岩手県葛巻町が選定された。

同町は、我が国の中でも地理的条件の厳しい岩手県の山間部にあって、高齢化の進行する中、平成18年10月に未曾有の豪雨災害に見舞われて、多くの住民が安全・安心な生活に向けた防災情報機能の整備を強く希望してきた。本調査研究会は、このような環境にある同町における様々な地域課題に対応する観点から同町が設置を強く求めてきたものである。そして、本年4月に関係の地方公共団体・企業等の参画を得て開催され、これら課題解決のためのブロードバンド環境の整備に向けた方策の検討を重ね、全町における地域公共ネットワークと超高速な情報通信基盤の整備に向けた実施計画を本報告書のとおり提言している。

本調査研究会の検討の成果が同町におけるブロードバンド整備への取り組みに寄与することを期待するとともに、全国の同様の条件にある市町村における検討に際してのモデルとなれば幸いである。併せて、本調査研究会の運営並びに7月26日に現地において開催されたブロードバンド関係公開デモンストレーションの実施に多大なるご協力をいただいた関係機関の皆様に厚く御礼を申し上げます。

平成19年12月11日

岩手県葛巻町におけるブロードバンド化促進のための調査研究会

座長 岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授 柴田 義孝

目次

はじめに

第1章 葛巻町情報化の背景	1
1-1.葛巻町の状況	1
1-2.葛巻町まちづくりの方向性	10
第2章 地域の情報通信環境の現状	15
2-1.現行サービスの概要	15
2-2.今後の問題点	22
2-3.国の政策動向	25
2-4.岩手県の取り組み	32
第3章 情報化へのニーズ	34
3-1.アンケート調査の概要	34
3-2.葛巻町の情報通信環境の現状	36
3-3.ブロードバンド環境の現状とニーズ	37
3-4.防災情報伝達基盤の現状とニーズ	40
3-5.テレビ放送の受信環境の現状とニーズ	41
3-6.携帯電話へのニーズ	43
3-7.葛巻町の情報化へのニーズ	45
第4章 導入すべきアプリケーション	48
4-1.導入すべきアプリケーションの方向性	48
4-2.導入すべきアプリケーション群	50
4-3.デジタル・ディバイド解消（地デジ対策／携帯不感地帯解消における活用）	51
4-4.防災情報システム（各世帯への音声告知／気象情報の配信等）	52
4-5.在宅医療・在宅健康管理システム	55
4-6.学校間の情報交流・遠隔授業システム	57
4-7.議会中継・行政情報配信システム	58
4-8.産業・観光情報配信システム	60
第5章 整備すべき情報通信基盤	63
5-1.情報通信基盤の考え方	63
5-2.葛巻町ブロードバンド・ネットワーク（仮称）の概要	65

第6章 整備手法	80
6-1.情報通信基盤の整備手法	80
6-2.国の支援制度	82
6-3.県の支援制度	86
第7章 葛巻町情報化の推進体制	87
7-1.事業の推進体制	87
7-2.スケジュール	93
7-3.その他の課題・留意点	96
資料編	98